

令和6年7月29日
横浜野球連盟

市大会における熱中症予防対策について（通知）

J S B B 熱中症予防対策ガイドライン（R6.7.9）が発出されたことから、横浜野球連盟主管大会においては、クーリングブレイクの確保を行ったうえで大会を実施することとします。

記

1 クーリングタイム・ブレイクの設置

① 6 イニングの試合（学童部等）

- ・ 2回、4回終了後に5分間のクーリングタイム（給水タイム・身体冷却タイム）を設ける。
- ・ 各イニングで守備時間が20分以上に及ぶ場合は5分間のクーリングブレイク（給水タイム）を取ることができる。

② 7 イニングの試合（少年部、B・C級等）

- ・ 2回、4回終了後に5分間のクーリングブレイク（給水タイム）を設ける。
- ・ 各イニングで守備時間が20分以上に及ぶ場合は5分間のクーリングブレイク（給水タイム）を取ることができる。

③ 9 イニングの試合

- ・ 3回、5回、7回終了時に5分間のクーリングブレイク（給水タイム）を設ける。
- ・ タイブレーク方式、延長戦の場合は、2イニング毎にクーリングブレイク（給水タイム）を設ける。
- ・ 各イニングで守備時間が20分以上に及ぶ場合は5分間のクーリングブレイク（給水タイム）を取ることができる。

2 クーリングブレイク時の措置

- ① クーリングタイム及びクーリングブレイクの時間は、試合時間から除外する。
- ② クーリングブレイク及びクーリングタイム時間終了後、守備側のチームはベンチ前で1分間のキャッチボール時間を設けたうえで守備位置に移動する。
- ③ クーリングタイム時には選手はグラウンド内に入らない。（次試合のチーム選手のグラウンド内のブルペン等への入場もクーリングタイム終了後とする。）

以上